

平田ロータリークラブ 週報

発行日 毎週木曜日

平成18年10月12日

No.1583

率先しよう

国際ロータリー会長 ウィリアム・ビル・ボイド
第2690地区ガバナー 新宮彦助

△事務局▽
島根県出雲市平田町2280-1
平田商工会議所2F TEL 0853-63-3232
FAX 0853-63-5365
A.M. 9:00 ~ P.M.5:00 土・日曜・祝祭日休局
E-mail hiratarc@web-sanin.co.jp

会長 加藤喜久 副会長 田中久雄
幹事 荒木貫 会計 金田卓也

例会プログラム

例会	卓話者	演題
第1583回	島根県農業技術センター栽培研究部長 小豆沢 斉様	地球温暖化による農業生産への影響
第1584回	ひらたCATV 12:30~	職場訪問例会
第1585回	職業奉仕委員会	優良者表彰

出席報告

会員数	出席者数	欠席者数	出席率	前回補正率
49	41	8	83.67	95.83

欠席者 黒田・常松・持田・園山・飯塚佳・園・石橋・金田
来訪者 竹内(出雲南)
M U 10/10黒田(出雲)・10/11平野(大社)

幹事報告

1. 地区大会(10/29日)米子コンベンションセンター参加について
集合時間 午前8時
集合場所 平田商工会議所駐車場

スマイル

竹内(出雲南) 久しぶりにお邪魔致しました。
藤井 スピーカーに小豆沢先生をお迎えして。
渡部 小豆沢様ようこそ。お父様には大変お世話になっております。
森山 出雲三中が本年NHK学校音楽コンクール全国第2位(昨年は全国3位)。
その指導者は、平田出身の吉川(旧姓 伊藤)里美先生の快挙を祝して。

10月26日例会受付当番

名原知漢・恒松克己・内田節夫

★松江南クラブ(月)

★出雲中央クラブ(月)

★松江しんじ湖(火) 10/24

★出雲クラブ(火)

★松江クラブ(水)

★大社クラブ(水)

★平田RAC(第1・3水)

★松江東クラブ(木) 10/26

★出雲南クラブ(金) 10/13・10/20

会長挨拶

早いもので昨年モンゴル国へ参りましてから、1年がたちました。

このモンゴル国訪問の旅は、終生忘れることの出来ないとても印象深いものでした。特に草原というより高原のようなテルジという所のゲルで一泊しましたが、翌朝まだ薄暗い時間に目を覚まし外へ出てみますと、満月があたりを照らし、満天の星が降り注ぎ、頭上を人工衛星が通り、そしてやがて周りの岩山の頂から朝日で刻々と赤く染まっていく、あの日の出の前の神秘的な光景は脳裏に焼きついていきます。

さて、このモンゴル国訪問のプロジェクトは、ご承知の通り故坪田愛華さんが描いた「地球の秘密」一万冊をモンゴルの子供達に贈呈するという事業でありました。これはロータリー財団の支援があったから実現したわけです。これにはロータリー財団のプログラムの中の人道的プログラムの内のマッチンググラントというプログラムが活用されました。

これには2ヵ国以上の国のロータリーの参加が必要で、今回は平田RCとモンゴルのkhureeRCとで行いました。

印刷製本代、輸送費など総額22500ドルの内、平田RCが2750ドル、khureeRC250ドル、第2690地区が9000ドル、そしてロータリー財団から10500ドルの支援をいただいて実現しました。

このマッチンググラントには、さまざまな条件がついています。①プロジェクトを維持する為の資金を寄贈するか、又は寄贈を募る。②政府機関との連絡をとる。③協力団体と共に組織する。④地元の報道機関に広報する。⑤マッチンググラントに加え、それを上回る資金などを寄贈する。⑥政府の高官や当局の関係者を招き、レセプションなどを開き、ロータリーの人道的活動に一般の人々の注意をひきつけるなどです。

このように財団から支援を得るには、さまざまな条件がついていますが、いずれもクリアーして実現したわけです。

この度、この事業が国際ロータリーで認められ、2005～2006年度国際ロータリー広報賞を受賞することが決定したと通知があり、今月29日に米子で開かれます地区大会で表彰していただくことになっています。共に喜びたいと思います。

スピーチ

地球温暖化による農業生産への影響

高根県農業技術センター

栽培研究部長 小豆沢 育 様



1. 実際の温暖化

日本周辺の気温は今後100年で3～5℃上昇する。温暖化の影響は、米・麦を中心とした穀物生産への影響を検討されてきたが、最も影響を受ける作物は果樹である。その理由として、我が国では品質重視が最優先されているが、品質に影響する気象要因は非常に複雑であり、果実肥大、成熟、着色、果形、糖

度・酸度などの食味はそれぞれ別々に影響を受けるからである。

2. 作物への影響

- ①水稲：夏場の高温によって登熟が悪くなり、乳白色米の発生が多く、品質が低下する。
- ②野菜類：夏季の高温によって土中の酸素が不足し、青ネギなどに生理障害（先端が黄色く変色）が発生する。
- ③果物類：加温栽培ブドウなどでは、秋の低温遭遇時間（休眠時間）が不足し、発芽が不良となる。冬場の気温上昇は、燃料費節減の点ではメリットとなる。温暖化により栽培適地の移動。
- ④花き類：夏から秋に出荷するものに生理障害が発生する。鉢物では鉢内の酸素不足による品質低下。
- ⑤病害虫発生の变化

3. 産地側、販売面への影響

- ①盆前の有利販売が可能であった地域が拡大するため、有利性が失われつつある。
- ②産地の再編

4. 今後の対応策

- ①温暖化に対応した作物の育種（高温でも着色しやすいブドウ。高温登熟しない水稲品種。）
- ②春先の凍害・霜害の対策
- ③将来的な展望に立った生産作物の選定